

## 統計研修所における統計研修の実施状況

統 計 研 修 所

### 1 研修課程の設定・受講状況

- (1) 別紙の「本科」、「専科」及び「特別講座」を設けて統計研修を実施。
- (2) 研修課程別の受講状況をみると、次のような状況。
  - ① 統計実務専門家に必要な知識について、十分に時間をかけ総合的・体系的に教える長期の研修（「本科」（3か月）、専科「調査設計・分析課程」（1か月））の受講者が減少。
  - ② 地方公共団体を含めて、短期間で基礎的な知識を教える課程に受講者が集まる傾向にあり、課程によっては、現在の施設・設備のキャパシティを超える応募。

### 2 研修内容の見直し状況

上記1のような状況を踏まえ、以下のとおり研修内容・課程の見直し等を実施。

- (1) 研修内容・実施頻度等の見直し・研修課程の新設
  - ・ 研修期間の短縮、課程のモジュール化
  - ・ 表計算ソフトを用いた統計入門、一般職員課程など基礎的な課程増設（実施頻度の増加）
  - ・ 国際統計研修の新設（平成17年度～）
  - ・ 統計調査基礎課程（通信研修）の新設（平成17年度～）
  - ・ 短期集中課程を再編し、専門性の高い研修課程を新設（平成19年度～）
  - ・ 統計調査基礎課程の拡充（平成20年度～）
  - ・ 地域に出向き講習を行う地域統計研修の新設（平成20年度～）
- (2) 研修設備の充実等
  - ・ 小地域統計に関する研修を可能にするため、GISソフトを購入
  - ・ 派遣機関が適切な課程を選択できるように、課程に関するHPなどの掲載内容を充実

# 平成20年度 統計研修課程一覧

研修課程		研修期間 <small>※年表示(20年、21年)省略</small>		定員 (名)	研修概要	
本科		9月4日(木)～12月9日(火)	3か月	30	各種行政施策の企画・立案、評価に必要な統計の知識・理論、分析手法の習得と広範な応用力の養成を目的とする総合研修課程	
専科	調査設計・分析	5月26日(月)～6月20日(金)	1か月	30	統計の基礎理論、統計調査・意識調査等の企画・設計、人口・経済統計の分析等についての知識・技能の習得を目的とする課程	
	人口推計	7月28日(月)～8月1日(金)	1週間	36	各種基礎データを使用して、将来人口などの推計を行うための実践的な知識・技能の習得を目的とする課程	
	経済予測	8月4日(月)～8月8日(金)	1週間	36	各種経済統計データを使用して、経済予測を行うための実践的な知識・技能の習得を目的とする課程	
	表計算ソフトを用いた統計入門	春季	5月19日(月)～5月23日(金)	各1週間	36	表計算ソフト(Excel)を用いて、統計計算に必要な関数の使用方法と統計表・統計グラフ作成の基礎的手法の習得を目的とする課程
		夏季	7月7日(月)～7月11日(金)		36	
		秋季	10月27日(月)～10月31日(金)		36	
		冬季	2月2日(月)～2月6日(金)		36	
	表計算ソフトを用いた統計分析	夏季	9月29日(月)～10月3日(金)	各1週間	36	表計算ソフト(Excel)の統計計算に必要な関数の使用方法に習熟している職員を対象として、統計分析手法(回帰分析、主成分分析等)の習得を目的とする課程
		冬季	2月23日(月)～2月27日(金)		36	
	国民・県民経済計算	春季	6月2日(月)～6月6日(金)	各1週間	36	国民・県民経済計算と産業連関表の概要・推計方法及び国民・県民経済計算の分析手法の習得を目的とする課程
秋季		11月10日(月)～11月14日(金)	36			
産業連関表による経済波及効果分析		6月9日(月)～6月13日(金)	1週間	36	国民経済計算と産業連関表の概要・推計方法及び産業連関表による経済波及効果分析手法の習得を目的とする課程	
特別講座	一般職員課程	春季	各4日間	60	一般職員を対象として、業務に必要な統計の基礎的知識の習得を目的とする課程	
		冬季		60		
	中堅職員課程		10月20日(月)～10月23日(木)	4日間	60	中堅職員を対象として、業務に必要な統計の知識と行政の各部門における課題に対応した統計の活用方法の習得を目的とする課程
	短期集中課程	経済統計入門	1月26日(月)～1月28日(水)	3日間	60	国民経済計算、消費・物価統計などの経済統計の基礎的な知識・理論と分析手法の習得を目的とする課程
		G I S (地理情報システム)と地域分析入門	7月23日(水)～7月25日(金)	3日間	36	G I S (地理情報システム)に係る業務に従事する職員を対象として、統計G I Sの基礎知識とG I S基本ソフトによるデータ分析手法等の習得を目的とする課程
	行政評価のための統計的手法		11月25日(火)～11月28日(金)	4日間	36	行政評価に必要とされる統計の基礎的な知識と理論、データ分析の手法の習得を目的とする課程
	統計調査基礎課程	通信研修<基礎> ・通信研修 (在職場研修) ・スクーリング	5・6・7・9・10・1月の各月 <sup>1)</sup> 9月、2月 <sup>2)</sup>	各15日間 各2日間	3)	新たに統計業務に従事する職員を対象として、職場のパソコンによる「インターネットを活用した研修」(通信研修)と「スクーリング」(集合研修)により、最も基本的な統計知識の習得を目的とする課程(通信研修のみの受講も可能)
		通信研修<応用> ・通信研修 (在職場研修)	11月、2月 <sup>4)</sup>	各15日間	50	「統計調査基礎課程<基礎>」の「通信研修」のみを受講した職員等を対象として、統計の基本的な知識の補充を目的とする通信研修のみの課程
地域統計研修		2月中旬～3月中旬	1日	70	近畿地域を中心とした府県等の職員を対象として、人口統計をテーマに、基本的な統計データの見方・利用の仕方、国勢調査の結果概要及び地域分析結果の利用方法等を学ぶ課程	
国際統計研修		6月18日(水)～7月23日(水)	毎週水曜日 (6日間)	10	統計に係る諸外国や国際機関等との対応業務に必要な専門知識・技能の習得を目的とする課程	

1) 【5月】12日(月)～30日(金) 【6月】10日(火)～30日(月) 【7月】10日(木)～31日(木) 【9月】1日(月)～22日(月) 【10月】1日(水)～22日(水) 【1月】8日(木)～29日(木)

2) 【9月】18日(木)、19日(金) 【2月】16日(月)、17日(火)

3) 【通信研修とスクーリング】各月20名 【通信研修のみ】各月30名

4) 【11月】4日(火)～25日(火) 【2月】6日(金)～27日(金)

## 平成19年度統計研修課程一覧

研修課程		定員 (名)	研修期間 ※年表示省略		研修概要	
本科		36	9月5日(水)～ 12月7日(金)	3か月	各種行政施策の企画・立案、評価に必要な統計の知識・理論、分析手法の習得と、広範な応用力の養成を目的とする総合研修課程	
調査設計・分析		36	5月28日(月)～ 6月22日(金)	1か月	統計の基礎理論、統計調査・意識調査等の企画・設計、調査・集計方法、人口・経済統計の分析等についての知識・技能の習得を目的とする課程	
人口推計		36	8月27日(月)～ 8月31日(金)	1週間	各種基礎データを使用して、将来人口などの推計を行うための実践的な知識・技能の習得を目的とする課程	
経済予測		36	9月3日(月)～ 9月7日(金)	1週間	各種経済統計データを使用して、経済予測を行うための実践的な知識・技能の習得を目的とする課程	
専 科	表計算ソフトを用いた 統計入門	春季	36	5月21日(月)～ 5月25日(金)	各1週間	表計算ソフト(エクセル)を用いた統計計算に必要な関数の使用方法と、統計表及び統計グラフの作成手法の習得を目的とする課程
		夏季	36	7月23日(月)～ 7月27日(金)		
		秋季	36	10月1日(月)～ 10月5日(金)		
		冬季	36	1月21日(月)～ 1月25日(金)		
	表計算ソフトを用いた 統計分析	夏季	36	7月30日(月)～ 8月3日(金)	各1週間	表計算ソフト(エクセル)を用いた統計分析手法(単回帰・重回帰分析、主成分分析等)の習得を目的とする課程
		冬季	36	1月28日(月)～ 2月1日(金)		
	国民・県民経済計算	夏季	36	7月2日(月)～ 7月6日(金)	各1週間	国民・県民経済計算と産業連関表の知識と理論、推計方法、国民・県民経済計算の分析手法の習得を目的とする課程
		冬季	36	12月17日(月)～ 12月21日(金)		
産業連関表による経済波及効果分析		36	7月9日(月)～ 7月13日(金)	1週間	国民経済計算と産業連関表の知識と推計方法、産業連関表による経済波及効果分析手法の習得を目的とする課程	
特 別 講 座	一般職員課程	夏季	60	6月4日(月)～ 6月7日(木)	各4日間	一般職員を対象として、業務に必要な統計の基礎的な知識の習得を目的とする課程
		冬季	60	2月12日(火)～ 2月15日(金)		
	中堅職員課程		60	6月12日(火)～ 6月15日(金)	4日間	中堅職員を対象として、業務に必要な統計の知識と、行政の各部門における課題に対応した統計の活用事例の習得を目的とする課程
	短期集中課程	経済統計入門	60	6月25日(月)～ 6月27日(水)	3日間	国民経済計算、消費・物価統計などの経済統計の基礎的な知識・理論、分析手法の習得を目的とする課程
		季節調整と 小地域推計	36	11月5日(月)～ 11月7日(水)	3日間	季節調整及び小地域推計等に関する業務に従事する職員を対象として、季節調整及び小地域推計の手法の習得を目的とする課程
	行政評価のための 統計的手法	地方公共団体	36	11月19日(月)～ 11月22日(木)	4日間	都道府県、市町村の職員を対象として、地方公共団体における行政評価に必要とされる基礎的な統計の知識と理論、データ分析の手法の習得を目的とする課程
		国 等	36	10月16日(火)～ 10月19日(金)	4日間	国及び政府関係機関の職員を対象として、国等における行政評価に必要とされる基礎的な統計知識と理論、データ分析の手法の習得を目的とする課程
	統計調査基礎課程		{ 通信研修(在職場研修) 4月～7月及び9月～2月の各月 <sup>※1</sup> スクーリング 9月、2月 <sup>※2</sup> (定員) ・通信研修+スクーリング 各月20名 ・通信研修のみ 各月30名	各15日間 各2日間	各15日間 各2日間	新たに統計業務に従事する職員を対象として、職場のPCによる『インターネットを活用した研修(通信研修)』と、『スクーリング(集合研修)』により、基本的な統計の知識・理論の習得を目的とする課程
国際統計研修		10	7月4日(水)～ 8月8日(水)	毎週水曜 (6日間)	統計に係る諸外国や国際機関等との対応業務に必要な専門知識・技能の習得を目的とする課程	

※1 通信研修期間 4月：9日(月)～27日(金)、5月：11日(金)～31日(木)、6月：11日(月)～29日(金)、7月：10日(火)～31日(火)、9月：3日(月)～25日(火)、10月：1日(月)～22日(月)、11月：1日(木)～21日(水)、12月：3日(月)～21日(金)、1月：10日(木)～31日(木)、2月：8日(金)～29日(金)

※2 スクーリング期間 9月：13日(木)～14日(金)、2月：21日(木)～22日(金)

## 平成18年度統計研修課程一覧

研修課程		研修期間	募集人員	研修内容及び主な科目	備考		
本 科		平成18年9月6日(水)～12月8日(金) 3か月	36名	各種行政施策の企画・立案、評価に必要な統計の知識・理論、分析手法の習得と、広範な応用力の養成を目的とする総合的な課程 [主な科目] 統計の意義・役割、基礎数学、エクセルの基本操作、統計グラフの基礎・同作成演習、記述統計・同演習、推測統計・同演習、標本調査、統計調査・同企画設計実習、多変量解析・同演習、人口分析、労働・雇用分析、地域分析、生産流通分析、経済分析基礎理論、物価・消費分析、国民・県民経済計算、産業連関分析、発表のための資料作成方法			
専 科	統計調査・意識調査の企画設計	平成18年7月3日(月)～7月14日(金) 2週間	36名	統計調査、意識調査等の企画・設計の仕方と調査方法、集計方法、結果の取りまとめ方に関する知識・技能の習得を目的とする課程 [主な科目] 統計の意義・役割、統計調査・同企画設計実習、標本調査、発表のための資料作成方法			
	人口推計	平成18年8月28日(月)～9月1日(金) 1週間	36名	各種基礎データを使用して、将来人口などの推計のための実践的な知識・技能の習得を目的とする課程 [主な科目] 現下の人口問題、推計のための人口基礎理論・同演習、人口・世帯の将来推計、労働力人口の推計	(注1)		
	経済予測	平成18年9月4日(月)～9月8日(金) 1週間	36名	各種経済統計データを使用して、経済予測を行うための実践的な知識・技能の習得を目的とする課程 [主な科目] 現下の経済動向、予測のための経済基礎理論、ケインジアンモデルによる経済予測、生産関数による経済予測	(注1)		
	表計算ソフトを用いた統計入門	春季	平成18年6月12日(月)～6月16日(金) 1週間	各36名	表計算ソフト(エクセル)による統計計算に必要な関数の使用方法と、統計表及び統計グラフ作成の基礎的手法の習得を目的とする課程 [主な科目] エクセルの基本操作、統計グラフ作成演習、統計データの見方・使い方		
		夏季	平成18年6月26日(月)～6月30日(金) 1週間				
		冬季	平成19年2月5日(月)～2月9日(金) 1週間				
	表計算ソフトを用いた統計分析		平成18年6月19日(月)～6月23日(金) 1週間	36名	表計算ソフト(エクセル)の統計計算に必要な関数の使用方法に習熟している者を対象として、統計の分析手法の習得を目的とする課程 [主な科目] 記述統計演習、多変量解析演習	(注1)	
	国民・県民経済計算	春季	平成18年5月22日(月)～5月26日(金) 1週間	各36名	国民・県民経済計算と産業連関表の知識と理論、推計方法、国民・県民経済計算の分析手法の習得を目的とする課程 [主な科目] 経済計算の意義・役割、SNAの概要、産業連関表の概要、国民・県民経済計算を用いた回帰モデル・経済モデル	(注1)	
冬季		平成19年1月15日(月)～1月19日(金) 1週間					
産業連関表による経済波及効果分析		平成18年5月29日(月)～6月2日(金) 1週間	36名	国民経済計算と産業連関表の知識と推計方法、産業連関表による経済波及効果分析手法の習得を目的とする課程 [主な科目] 経済計算の意義・役割、エクセルを用いた産業連関分析・同演習	(注1)		
特 別 講 座	一般職員課程		平成18年5月15日(月)～5月18日(木)	70名	一般職員を対象として、業務に必要な統計の基礎的な知識の習得を目的とする課程 [主な科目] 統計の意義・役割、統計学入門、統計グラフの基礎、統計調査入門、人口問題と人口統計、雇用失業問題と労働統計、景気動向と経済統計、統計データの見方		
	中堅職員課程		平成18年9月25日(月)～9月28日(木)	50名	中堅職員を対象として、業務に必要な統計の知識と、行政の各部門における課題に対応した統計の活用事例の習得を目的とする課程 [主な科目] 統計の意義・役割、統計学入門、人口問題と人口統計、景気動向と経済統計、国民経済計算、地域経済と統計、行政評価と統計、主要統計指標の見方・使い方		
	短期集中課程	統 計 学	平成19年2月26日(月)～2月28日(水)	36名	統計学の基礎的な知識・理論と統計分析の基礎的手法の習得を目的とする課程 [主な科目] 記述統計・同演習、統計データの見方・使い方	(注1)	
		人 口 ・ 労 働 統 計	平成18年10月16日(月)～10月18日(水)	36名	人口統計及び雇用・失業統計の基礎的な知識・理論、分析手法の習得を目的とする課程 [主な科目] 労働統計の見方・使い方・考え方、人口統計、労働・雇用統計、日本の人口問題		
		経 済 統 計	平成18年11月27日(月)～11月29日(水)	36名	国民経済計算、家計・物価統計などの経済統計の基礎的な知識・理論、分析手法の習得を目的とする課程 [主な科目] マクロ経済統計、消費経済統計、生産流通統計、日本経済の現状		
	行政評価のための統計的手法	地方公共団体	夏季	平成18年7月25日(火)～7月28日(金)	36名	都道府県、市町村の職員を対象として、地方公共団体における行政評価に必要とされる基礎的な統計の知識と理論、データ分析の手法の習得を目的とする課程 [主な科目] 行政評価と統計、地方自治体の行政評価の実践と課題、行政評価の実例、アンケートの調査・集計・解析、統計データの見方・使い方	(注1)
		国 等		平成18年12月12日(火)～12月15日(金)	36名	国及び政府関係機関の職員を対象として、国等における行政評価に必要とされる基礎的な統計の知識と理論、データ分析の手法の習得を目的とする課程 [主な科目] 行政評価と統計、行政評価の実例、アンケートの調査・集計・解析、統計データの見方・使い方	(注1)
統計調査基礎課程		通信研修(在職場研修、各月約3週間) 平成18年4月～7月、9月～19年2月の各月 スクーリング ①平成18年8月24日(木)～8月25日(金) ②平成18年12月18日(月)～12月19日(火) ③平成19年3月8日(木)～3月9日(金)	各50名 80名 60名 60名	新たに統計業務に従事する職員を対象に、職場のPCによる『インターネットを活用した研修(通信研修)』と、『スクーリング(集合研修)』による最も基本的な統計の知識・理論の習得を目的とする課程 [主な科目] 統計総論、統計調査入門、統計データ利用入門	(注2)		
国際統計研修		平成18年6月14日(水)～7月19日(水)の 毎週水曜日(計6日間)	10名	統計に係る諸外国や国際機関等との対応業務に必要な専門知識・技能の習得を目的とする課程 [主な科目] 統計総論、人口・労働統計、経済統計・SNA、プレゼンテーション手法			

※研修期間及び研修内容は、都合により変更することがあります。

(注1)受講希望者は、エクセルの関数操作(四則演算、SUMやAVERAGE等の関数機能、ピボットテーブルの利用等)ができることを前提とします。

(注2)通信研修の実施期間は、4月から7月までは各月10日前後から月末まで、9月以降は各月始めから約3週間とします。

## 平成17年度統計研修の概要

研修課程		研修期間	募集人員	研修の内容及び主な科目	備考	
本科		平成17年9月15日(木)～12月20日(火)	36名	各種の行政分野における業務の企画、立案の遂行に必要な統計の基礎知識と広範な応用力の習得を目指して、総合かつ本格的に研修する課程 [主な科目] E X C E L の関数操作、記述統計、推測統計、多変量解析、統計調査論(統計調査、標本調査)、人口・社会統計分析(人口分析、地域分析、社会分析)、経済統計分析(経済分析基礎理論、国民・県民経済計算、労働・雇用分析、消費・物価分析、生産流通分析)、個人研究		
専科 (1か月)	統計企画・分析課程	平成17年5月26日(木)～6月22日(水)	36名	統計の基礎理論、統計の作成、提供、分析、利用の手法等についての基礎となる知識・技能を総合的に習得する課程 [主な科目] E X C E L の関数操作、記述統計、推測統計、統計調査論(統計調査、標本調査)、分野別統計と分析手法(人口分析、消費・物価分析、労働・雇用分析、マクロ経済分析)、統計解析(多変量解析)、分析実習		
	経済統計分析課程	平成17年7月7日(木)～8月4日(木)	36名	経済統計の基礎的な知識・理論、経済統計に関する分析手法やその考え方について総合的に習得する課程 [主な科目] E X C E L の関数操作、統計総論、統計学、多変量解析、マクロ経済モデル分析、消費分析、国民経済計算・産業連関分析、労働経済分析、経済分析実習		
専科 (短期)	人口推計と経済予測の実践的手法		平成17年8月29日(月)～9月9日(金) 2週間	36名	各種統計データを用いて、人口推計と経済予測を行うための実践的な知識・技能を習得する課程 [主な科目] 人口推計手法(現下の人口問題、人口推計基礎理論、人口・世帯・労働力人口の将来推計)、経済予測手法(現下の経済問題、経済予測基礎理論、各種モデルによる経済予測)	(注1) (注2)
	人口・労働統計分析課程		平成18年2月27日(月)～3月10日(金) 2週間	36名	人口・世帯の構成や変動についての分析手法と、労働力、失業、雇用等に関する調査方法・分析手法を習得する課程 [主な科目] E X C E L の関数操作、人口統計分析(人口変動、人口構造、出生、死亡等)、労働統計分析(労働力、失業、雇用、賃金等)	
	表計算ソフトを用いた統計分析	EXCEL中級者	平成17年5月16日(月)～5月20日(金) 1週間	36名	表計算ソフト(E X C E L)の統計関数等の使用に習熟している者を対象として、統計データの分析手法を習得する課程 [主な科目] 記述統計(度数分布、標準偏差、分散、相関係数等)、推測統計(推定と検定等)、回帰分析、多変量解析等	(注1)
		EXCEL初級者	平成17年10月11日(火)～10月21日(金) 2週間 平成18年2月7日(火)～2月17日(金) 2週間	各36名	表計算ソフト(E X C E L)による統計計算に必要な関数の使用方法の習得から、統計データの分析手法を習得する課程 [主な科目] E X C E L の関数操作(SUMなど関数、グラフ、ピボットテーブル、行列計算等)、記述統計(度数分布、標準偏差、分散、相関係数等)、推測統計(推定と検定等)、回帰分析、多変量解析等	
	国民・県民経済計算	2週間	平成17年6月6日(月)～6月17日(金) 2週間	36名	国民・県民経済計算及び産業連関表の基礎と分析手法について習得する課程 [主な科目] 国民経済計算(SNA)の意義・役割、SNAの概要、県民経済計算の概要、国民経済計算を用いた経済モデル分析、産業連関表の基礎、産業連関分析	(注1) (注3)
		1週間	平成18年1月23日(月)～1月27日(金) 1週間	36名	国民・県民経済計算及び産業連関表の基礎について習得する課程 [主な科目] 国民経済計算(SNA)の意義・役割、SNAの概要、県民経済計算の概要、産業連関表の基礎	(注1)
一般職員課程		平成17年5月10日(火)～5月13日(金)	80名	「統計のしくみと見方」をテーマとし、一般職員を対象として、統計行政のしくみ、統計学の基礎、人口問題、雇用・失業問題、景気動向とそれらに係る統計など、業務に必要な統計の基礎知識を習得する課程		
中堅職員課程		平成18年1月17日(火)～1月20日(金)	50名	「行政と統計の役割」をテーマとし、中堅職員を対象として、業務に必要な統計の知識について、各部門における行政課題とそこで統計がいかに活用されているかを習得する課程		
特別講座	短期集中課程	統計学	平成17年6月27日(月)～6月29日(水)	各36名	統計理論の基礎及び統計分析手法の基礎について習得する課程	新規
		人口・労働統計	平成17年7月11日(月)～7月13日(水)		人口統計の概要とその分析手法、雇用・失業統計の概要とその分析手法について習得する課程	(注1)
		経済統計	平成17年8月8日(月)～8月10日(水)		国民経済計算、消費・物価統計等の経済統計に関する概要及び分析手法について習得する課程	
	行政評価のための統計的手法	地方公共団体	平成17年8月23日(火)～8月26日(金) 平成17年12月6日(火)～12月9日(金)	各36名	行政評価と統計、統計データの使い方、統計学の基礎、データ解析の基礎、各種行政評価の実例など、行政評価のために必要な統計的手法について習得する課程	(注1)
国等		平成17年11月8日(火)～11月11日(金)				
統計調査基礎課程		通信研修(在職場研修、各月約3週間) 平成17年4月～7月、9月～18年2月	各50名	統計総論、統計調査論、統計データ利用入門など、統計調査の基礎的な科目について、受講者が通信回線(インターネット)に接続した職場のPCにより習得する課程	(注4)	
		スクーリング(6月、11月、平成18年1月)	各60名	通信研修の受講終了者を対象に、通信研修のみでは理解しにくい事項、統計調査に係る基礎的な知識を習得する課程(各回2日間実施)		
国際統計研修		平成17年7月～ 毎週1回、計5回	10名	国際統計業務を担当又は今後担当する職員を対象として、官庁統計の基本的な考え方とその仕組み、国際統計機関の役割とその業務概要、人口・事業所・企業等の主要統計の概要、国際会議等におけるプレゼンテーション技法等について習得する課程	新規	

※研修期間及び研修内容については、諸般の事情により変更することがあります。

(注1)受講希望者は、E X C E L の関数操作(四則演算、SUMやAVERAGE等の関数機能、ピボットテーブルの利用等)ができることを前提とします。

(注2)全体受講、又は前半(人口推計)か後半(経済予測)の1週間だけの受講が選択できます。

(注3)全体受講、又は前半(基礎)か後半(分析)の1週間だけの受講が選択できます。

(注4)通信研修の実施期間は、4月から7月までは各月10日前後から月末まで、9月以降は各月始めから約3週間とします。